

令和8年度

「運営に関する計画」



大阪市立中大江小学校

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 児童数が増加している。不登校、いじめ、障がいのある児童や外国につながる児童に対して、きめ細やかな支援の重要性が高まっている。多様なニーズに寄り添う相談体制や人権教育をさらに充実させる必要がある。
- 幼稚園を併設している。都市部の利便性を活かした教育環境が強みである。学力は全国平均を上回る高い水準を維持している。限られた校地を有効に活用し、未来を切り拓く学力・体力の向上を図る必要がある。
- 大阪城をはじめ、歴史と伝統を重んじられている地域であり、かつ新しい住民の方も増え、地域のイベントも多く、多様性と活気に満ちた地域である。保護者や地域の皆様の教育への関心が非常に高く、学校園への協力体制も厚く、学習・生活面ともに質の高い教育が期待されている。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。(R7は87.1%)
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。(R7は2.09%)
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。(R7は80.4%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。(R7は83.8%)
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を72%以上にする。(R7は68.5%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を70%以上にする。
- 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。(R7は3月13日現在20時間25分)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。(R7は87.1%)
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。(R7は2.09%)
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80.5%以上にする。(R7は80.4%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。(R7は83.8%)
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を69%以上にする。(R7は68.5%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を70%以上にする。
- 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。(R7は3月13日現在20時間25分)

3 本年度の自己評価結果の総括

--

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【安全・安心な教育の推進】 ● 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 88% 以上にする。(R7 は 87.1%) ● 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。(R7 は 2.09%) ● 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80.5% 以上にする。(R7 は 80.4%)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【安全・安心な教育環境の実現 (本市の基本的な方向1)】 いじめを許さない学校づくり。不登校への対応。安全教育の推進。	
指標 ・「こころの天気」を第2校時開始までに実施する。 ・いじめ・いのちについて考える日を年間1回、いじめアンケートを年間3回、いじめ対策委員会を毎月開催し、法令や市の方針に基づいたいじめ対応を行う。 ・スクリーニングシートをもとに個別課題や学級の様子について話し合う生活指導部会を月1回、スクリーニング会議Ⅱを学期に1回以上実施する。	
取組内容②【豊かな心の育成 (本市の基本的な方向2)】 インクルーシブ教育の充実。多文化共生教育の推進。教育相談・発達支援の充実。	
指標 ・インクルーシブ教育の全体研修を2回、学級担任と特別支援担任が連携した指導を年1回以上実施する。 ・人権教育年間計画に沿って人権教育の取組を各学年で年1回実施する。	
取組内容③【豊かな心の育成 (本市の基本的な方向2)】 特別活動と体験的な学習の充実。幼小連携と異年齢交流の充実。自己有用感の醸成。	
指標 ・色別集会を月2回以上、クラブ活動を年13回以上、委員会活動を年8回以上、自然体験学習を5・6年生各1回、その他体験学習など自己有用感や集団づくりにつながる実践を児童会や各学年で学期に1回以上取り組む。 ・幼小連携や異学年交流を各学年2回以上、教員の幼稚園見学を年間1回以上行う。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 小学校学力経年調査における「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。 ● 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。(R7は83.8%) ● 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を69%以上にする。(R7は68.5%) 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【誰一人取り残さない学力の向上(本市の基本的な方向4)】 主体的・対話的で深い学び。授業研究会や1人1授業による質の高い授業の構築。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教科の単元において1回以上は、主体的に自らの学びを見つめる場面・対話的に学び合う場面・学びを深める言語活動を設定し、主体的・対話的で深い学びと、言語活動を重視した学習指導を学校全体で実践する。 ・1人1授業を全員が年間1回以上行う。算数検証授業を校内で年2回以上実施する。各教員が年間3回以上公開授業を参観する。 	
<p>取組内容②【健やかな体の育成(本市の基本的な方向5)】 体育授業研究(3年目)の充実。体力・運動能力の向上。年間指導計画の充実。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育科授業研究会を年間6回以上実施し、運動量の確保と系統性を踏まえた学習指導、楽しさや喜びを味わえる学習の充実を図る。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立中大江小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>● 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する児童の割合を 70%以上にする。</p> <p>【その他】</p> <p>● 教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を月 20 時間以下とする。(R 7 は 3 月 13 日現在 20 時間 25 分)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【教育DXの推進（本市の基本的な方向6）】</p> <p>授業での学習者用端末の活用。</p> <p>指標</p> <p>週 3 回以上授業で学習者用端末を活用する。週 1 回以上学習者用端末を持ち帰る。</p>	
<p>取組内容②【人材の確保・育成としなやかな組織づくり（本市の基本的な方向7）】</p> <p>ゆとりの日の設定。チーム力とワークエンゲージメント（働きがいや満足度）向上。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 週 1 回以上は会議等を入れない日を設け、行事予定に「ゆとりの日」と明記し、教職員各自が業務管理と自らの心身の健康保持を意識できるようにする。 地域行事や緊急対応を除いて、原則 19 時までに全員が退勤する。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	